

金沢5年

著者	河? 洋志
著者別表示	Kawasaki Hiroshi
雑誌名	金沢大学十全医学会雑誌
巻	127
号	1
ページ	1-1
発行年	2018-03
URL	http://hdl.handle.net/2297/00051109

金沢5年

Five years in Kanazawa

金沢大学医薬保健研究域 医学系 脳神経医学分野
河 崎 洋 志

金沢大学十全医学会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より御支援を賜り衷心より篤く御礼申し上げます。

私は2013年1月に東田陽博先生の後任として着任させて頂き、研究室は4月より始動しましたので、それ以来5年あまり金沢で過ごしたことになります。研究室の立ち上げから運営に至るまで多くの方々に陰日向の大変に暖かいご支援を頂きました。金沢での人のつながりの豊かさ、温かさを肌で感じた5年間でした。この場をお借りして改めて深く感謝申し上げます。

私は大学卒業後4年間、神経内科医として臨床診療に携わったこともあり、脳神経系に興味を持ち研究しています。特に私の研究室では脳発達の仕組みおよびその異常が引き起こす疾患病態の解明をテーマとしています。研究の特徴としましては、高等哺乳動物の脳を研究対象としている点が挙げられます。現在、多くの脳研究はマウスを用いていますが、マウスの脳はヒトの脳に比べてかなり原始的であり、ヒトの脳を理解するには不十分です。そこでよりヒトに近い脳を持つ高等哺乳動物を用いた脳研究に注目が集まっています。私たちは高等哺乳動物に特徴的な脳構築のなかでも特に、マウスの脳には存在せずこれまで研究が困難だった大脳皮質表面のシワ、即ち脳回に注目した研究を進めています。徐々に金沢発の研究成果が出始めており、脳回形成に関わる遺伝子の同定や脳回異常疾患の病態を解析し報告しました。統合失調症や自閉症でも脳回の異常が報告されており、そちらの方向へも研究を広げていきたいと思っています。このような研究にご興味がありましたら、末尾にホームページを記載しましたのでぜひご覧いただくと存じます。また所属に拘わらず見学や研究への参加も歓迎しますので気軽にご連絡をいただくと存じます。

私たちは金沢大学医学系の発展には人材育成こそが重要と考えており、研究室の運営には人材育成を最重要視しています。優秀な金沢大学の医学類生および大学院生が短時間でその能力を最大限に発揮できるように、研究に関する教育システムを整備してきました。実験技術に加えて、研究テーマの立て方、研究プロジェクトの進め方、英語論文の書き方、プレゼンや議論の方法および医学英語などのノウハウを身につける機会を積極的に提供しています。研究や論文作成の経験を積んで卒業し、その後はさまざまな分野で活躍し、将来の金沢大学を担う人材に育ってくれればと願っております。

2015年に文部科学省は86国立大学を下記の3類型に分類しました。「地域と特色分野の教育研究(=地域型)」

55大学、「特色分野の教育研究(=特色型)」15大学、「卓越した海外大学と伍した教育研究と社会実装(=世界型)」16大学に分けました。金沢大学は旧7帝大とともに世界型を選択したことから、これまで以上に研究の活性化が求められています。実際にいまだに病態生理や治療法が不明な疾患や、解明されていない生理機能などが多くあり、金沢大学への期待は大きいと言えます。そこで金沢大学医学類では知識の暗記に偏りがちな講義から脱却して、実践的な研究力・思考力を医学類生時代から身につけるために、2012年度よりMRT (Medical Research Training) プログラムという独自の取り組みを行っています。医学類生が自主的に放課後に研究室へ出入りし、最前線の研究に参画します。論理思考や論文作成などの経験は臨床の現場でも役立ちますし、また卒業後に所属する臨床教室においては研究面での即戦力となります。最近では、類似の試みを行っている東京大学、東北大学、千葉大学、山梨大学、群馬大学などと合同で学生の研究発表会も行い、今年の夏には初めて金沢で開催予定です。この発表会を通じて他大学の幅広の学生と友人関係を作ることができます。さらに医学類生向けのニューヨーク医学研修もあり、学生の頃からアメリカでの臨床や研究の現場に触れる機会が設けられています。このような機会を利用して日本レベルや世界レベルで戦える人材が巣立っていく雰囲気が高まっています。

私はもともと金沢の生まれ育ちですので金沢の街の雰囲気が大好きです。冬の曇った天候も全く気になりませんし、雪の積もった早朝の雰囲気も大好きです。この故郷の金沢大学医学系の発展に貢献できればと願っています。私は医学・医療はとても素晴らしい職業であり学問だと思います。臨床診療では病気に悩む患者様の役に立ち、研究では身体の謎を解き、未解明の病気の原因究明と新たな診断・治療法の確立を目指します。金沢発のオリジナルな研究成果を発信して参りたいと思いますので、今後とも十全医学会の皆様にはご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。末筆となりますが皆様のご健康とご発展をお祈り申し上げますとともに、巻頭言の寄稿の機会を頂きました十全医学会編集委員長の土屋弘行教授に深謝致します。

研究紹介ページ

<https://academist-cf.com/journal/?p=1361>

研究室ホームページ

<http://square.umin.ac.jp/top/kawasaki-lab/>